

Jazz Interview vol.54

デビュー・アルバムをリリースした
NY 在住の注目のジャズ・シンガー！

石田彩 【Aya Ishida】

「やはりジャズを勉強するならニューヨーク」との思いで2013年にニューヨークに渡った石田彩（Aya Ishida）。自身で作曲も手掛け、ニューヨークの風を感じさせるような個性的で心温まる歌声は、本場ニューヨークで益々磨きがかかるに違いない。7月1日にデビュー・アルバム『Day by Day』を発表したばかりの注目のジャズ・シンガーのインタビュー。今後の活躍に要注目です！

【2018年8月 取材・文：加瀬正之】



Photo: Christine Cruz

♪まずはデビュー・アルバム『Day by Day』リリースおめでとうございます！個人的にもとても気に入っています。7月1日にリリースされましたが、今の率直な気持ちを聞かせて下さい。

アルバムを作ると決めてからは怒涛の日々だったので、リリースが終わって安心しています。それと同時にボーカリストとしての名刺ができたような、身の引き締まる気持ちもあります。一緒にアルバムを作ってくれたミュージシャンやエンジニアの方達、支えてくれた家族や友達に恩返しできるようこれからもっと頑張っていきたいです。

♪アルバムに込めた思いとコンセプトを聞かせて下さい。

私の中で一番大切にしていたのは、どう自分らしさを出すかでした。アレنج曲を加えたスタンダード4曲は、誰もが知る名曲なので、歌詞や曲全体のイメージを忠実にどう表現するかをよく考えました。オリジナルの The Petal ではニューヨークでの葛藤や希望を書き、Where I Come From では、ブラジリアンフィーリングにヴォーカリス、そして日本語の歌詞を入れました。今の私ができる自分らしさを出したアルバムになったと思います。

♪グラミー賞にも輝いているサクソ奏者ウェイン・エスコフィエーをプロデューサーに迎えています。メンバーはどのように決めたのですか？

ウェインは私のボーカルの先生のキャロリン・レオンハートに紹介してもらいました。ウェインがピアニストのヴィクター・ゴールドを呼んでくれて、ベースの境野慎一郎さんとドラムのジョングック・キムは私の友達でもあり、素晴らしいミュージシャンなので、ぜひアルバムに参加してほしいと思いました。あのメンバーで初アルバムを作成できて、とても嬉しく思っています。

♪ニューヨークに渡ったきっかけについて聞かせて下さい。

ジャズを歌うなら英語力や発音は必須だと思っていたので、実は2010年に半年だけカリフォルニアに語学留学をしました。そこでの生活がとても楽しくて、またカリフォルニアに戻りたいと思っていましたが、やはりジャズを勉強するならニューヨークだろうと思い、2013年にニューヨーク市立ハンターカレッジに入学しました。とにかくニューヨークに行きたくて飛んできてしまったのですが、ハンターカレッジにはクラシック科しかなくて…（笑）。2014年に同じニューヨーク市立のシティーカレッジに編入し、ジャズ科での勉強を始めました。

♪ニューヨークでの生活はいかがですか？

大変なことも沢山ありますが、やはりどこに行っても素晴らしい音楽が聴けるのはとても刺激的です。また世界中からいろんな人、人種が集まっているので、みんな違ってあたり前、それぞれの個性が大事という環境は、音楽にもいい影響を与えてくれていると思います。

♪ニューヨークで活動後、歌に対する意識も変わりましたか？

とても変わりました。ニューヨークには素晴らしいボーカリスト達が沢山います。みんなそれぞれの個性があって、自分のスタイルを持っています。ニューヨークにくる前は、ジャズを歌うなら、サラ・ヴォーンや、カーメン・マックレイみたいに、深くで低い声でなくては行けない、キーを下げて歌わなくては行けない、ソプラノの私の声はジャズに向かないのかも、と思い込んでいました。わざとキーを下げて歌ったりしていたので、歌いにくいし、私の個性も出ません。でもニューヨークにきて、いろんなシンガーを見て、あ、私は私の歌いやすい音域で歌っていいし、こうあるべきだって決まりなんてないんだ、と気づきました。もちろんジャズレジェンドの歌い方やスタイルを勉強して、最初は真似をするところから始めるのもとても大事だと今も思っていますが、こうあるべき、という固定観念がなくなったのは、自分にとっての大きなステップだったと思います。

♪ニューヨークで注目しているジャズ・アーティストはいますか？

ターナ・アレキサがとても好きで、演奏を見に行ったりします。彼女のメッセージ性の強い曲や、ペダルを使ったパフォーマンスがすごく魅力的です。

♪歌い始めた頃はどんな音楽を聴いていたのですか？ジャンルに関わらず、強い影響を受けたシンガーを3人挙げてもらえますか？

歌うことは幼少期から大好きで、歌謡曲やアニメの曲、小学校低学年の頃は SPEED の曲を歌うのが好きでした。小学校高学年、中学高で、アイドルがすごく流行りましたが、私は好きじゃなくて、そこから洋楽を聴くようになりました。とても生意気だったと思います（笑）。ビヨンセが大好きで、彼女の影響で英語、洋楽に強い興味を持つようになりました。ジャズを勉強し始めてからは、サラ・ヴォーンとカーメン・マックレイの影響が強いと思います。

♪ジャズとの出会いについて聞かせて下さい。

日本の大学での専攻が英米文学科だったのですが、ピリー・ホリデイが Strange Fruit を歌っている動画を、黒人差別の授業で教授が流してくれたんです。当時の黒人リンチの写真も映し出されていて、かなりショックでした。その衝撃が強すぎて、しばらくピリーの歌は聴けなかったのですが…笑。でも、その授業がきっかけでジャズに強い興味が湧き、サラ・ヴォーンやエラ・フィッツジェラルドなどを聴き始めました。

♪作曲はどのようにしているのですか？

メロディーが先に浮かんでくることもあります。コード進行を先に決めることの方が多くかもしれないです。浮かんできたコードやメロディーがすぐに消えてしまうこともあるので、常に録音するようにしています。ピアノを弾きながら、浮かんでくるメロディーを歌って、録音を聞き返して、いいなと思ったものを楽譜に書き込みます。

♪ジャズ・シンガーとして大切にしていることは何ですか？

自分はジャズ・シンガーですって胸を張っているのって、そんなに簡単なことじゃないと思うんです。ジャズミュージシャンと演奏したり、話したりするたびに痛感しますが、彼らは本当によく理論やハーモニー、ジャズ言語についてよく知っています。私ももっともっと勉強して追いつきたいとも思っています。歌詞はもちろんですが、その曲のハーモニーなどもしっかり理解して歌うこと、その上で自分の個性を表現するのが大切だと思っています。

♪共演してみたいミュージシャンはいますか？

夢の夢のまた夢ですが、クリスチャン・スコットの音楽が大好きで、彼の音楽にバックコーラスで加わりたいです（笑）。

♪2019年に向けての目標、今後挑戦してみたいこと、将来の夢について聞かせて下さい。

作詞／作曲を通して、さらに自分の好きな音楽の追求、表現をすることがこれからの目標です。今後挑戦してみたいことは、せっかく日本人として生まれたので、日本の音楽や、日本の美しい言葉をもっと勉強して、それを作詞／作曲、そしてジャズに反映することです。日本人である私がアメリカ発祥のジャズを歌うことや、自分のスタイルの音楽ってなんだらうって考えた時に、やっぱり日本人であるというアイデンティティは変わらないし、それをもっと表現するべきじゃないかと思いました。今は世界中の人がジャズを演奏しますし、お互いの文化の影響を受けた音楽を共有できたら面白いですよね。それをもうやっているミュージシャンも沢山いますし、私もその一員になりたいんです（笑）。将来の夢は、ありきたりで壮大ですが、やはり自分の作る音楽で社会貢献がしたいです。私の歌を聴いてるときに、一瞬でも普段より幸せな気持ち、楽しい気持ちになっていただけたら、最高に嬉しいです。

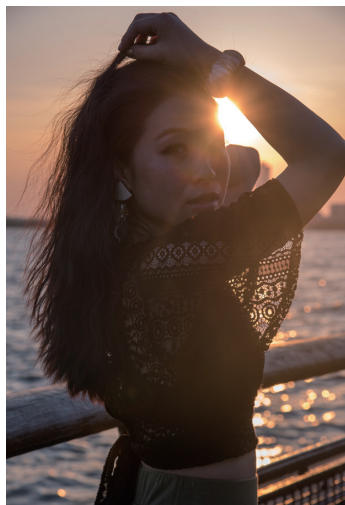


Photo: Christine Cruz

♪ニューヨークでお薦めのお店や場所はありますか？

グリーンウィッチ・ヴィレージのエリアはジャズクラブが多くてよく行くのですが、特にスモールズがお気に入りです。常に素晴らしいミュージシャンの演奏が聴けますし、毎日朝3時、4時まで行われているジャムセッションの活気はニューヨークならではのものだと思います。

♪音楽以外の趣味は何ですか？

鉱物やミネラルを集めています。とにかく綺麗ですって見られるんです（笑）。いつかブラジルやメキシコにミネラル採掘に行ってみたいです（笑）。あとは食事をしたり、映画を見たりなど、自分の大切な人たちとゆっくり時間を過ごすことも大切にしています。

♪最後に The Walker's の読者とファンの皆さんにメッセージをお願いします。

The Walker's さんに私の音楽を紹介していただけてとても感謝しています。私が好きなジャズを歌ってアルバムを出せたのも、ジャズ音楽をサポートしてくださるジャズファンの皆さんのおかげです。ジャズは本当に素晴らしい音楽です。これからも一緒にジャズを盛り上げていきましょう！ありがとうございます！

【Aya Ishida オフィシャルウェブサイト】
<https://www.ayaishida.com/>



Day by Day Aya Ishida

© Aya Ishida
¥ 2,484（税込）
2018年7月1日発売

Aya Ishida の記念すべきデビュー・アルバム！

グラミー賞受賞サクソフプレーヤーウエイン・エスコフェリーをプロデューサーに迎え、スタンダードを中心に8曲を収録。
【P11 < Jazz New Disc > でも紹介！】